

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 2 月 23 日作成)

委員会名	居住性能評価WG	主 査 名：石川孝重
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会(環境振動小委員会)	委員長名：石川孝重
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2004 年 5 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>設置目的：「建築物の振動に関する居住性能評価指針・同解説」の改定に際して、具体的改定作業を進める企画刊行小委員会傘下の居住性能評価指針改定WGおよび3SWGと、環境振動小委員会との調整をはかりながら、最新の研究成果を反映するための継続的フォローアップをはかる。</p> <p>2003 年度活動計画：企画刊行小委員会傘下のWGおよび各SWGで検討した改定内容について、環境振動小委員会内で調整をはかった。2003 年度末までに同指針の改定版を刊行する予定である。</p> <p>2004 年度活動計画：刊行した同指針改定版に基づいて講習会を開催する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>主査 石川孝重(日本女子大学)</p> <p>幹事 塩谷清人(九州大学)</p> <p>委員 大熊武司(神奈川大学), 櫛田 裕(神戸芸術工科大学), 後藤剛史(法政大学), 田村幸雄(東京工芸大学), 中村 修(風工学研究所), 野田千津子(日本女子大学), 横山 裕(東京工業大学)</p>	
設置WG (WG名:目的)	なし	
2003 年度予算	11,500 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>8月8日 主査他6名</p> <p>(企画刊行小委員会の下に設置した居住性能評価指針改定WGと委員が同一であるため、居住性能評価指針改定WGとして委員会を開催した。その他は、文書、メール等による議論を活用した)</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>企画刊行小委員会傘下で具体的改定作業を進めている各SWGで検討した改定内容、指針全体としての統一などに関して調整をはかり、改定作業を終了した。特に、環境振動小委員会委員を中心とした内部査読システムを新たに導入し、委員会内での議論を活性化した。また、環境工学委員会のアカデミックスタンダードとして位置づけるために、パブリックコメントを募集するなど、広く会員の意見を反映することも試みた。企画刊行小委員会傘下の居住性能評価指針改定WGを中心に、具体的編集・出版作業に入っており、2003 年度末に改定版を刊行し、2004 年度5月に同指針改定版に基づいた講習会を開催する予定で計画を進めている。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初の予定どおり、本年度末に「建築物の振動に関する居住性能評価指針・同解説」の改定版を刊行する見込みである。改定作業中においても、特に、環境振動小委員会委員への査読システムの導入やアカデミックスタンダードとして位置づけるためのパブリックコメント募集などを計画実行し、学会指針としての位置づけの確立をはかったことは評価できるものと考えている。</p>
その他評価すべき事項	